

(一般情報)

水稻の省力低コスト化技術現地検討会の開催 ～「農業用ドローン」による斑点米カメムシ類の防除～

長生農業事務所改良普及課 平成30年7月3日発

農業事務所では、7月3日に茂原市で「水稻の省力低コスト化技術現地検討会」を開催したところ、生産者及び農業関係者約60名の参加がありました。当日は、「コシヒカリ」より1ヶ月ほど早く収穫できる極早生品種「五百川」のほ場で、「農業用ドローン」による斑点米カメムシ類の防除の実演を行いました。

長生地域では、飼料用稲や業務用米向け品種等の作付増加により、水稻の作型が多様化しています。そのため、共同防除では適期防除が難しく、個別防除では作業負担が大きいという問題が生じています。そこで、無人ヘリコプターに比べて導入コストが安く、防除作業の省力化及び時間短縮につながる「農業用ドローン」への期待が高まっています。

今後も農業事務所では、新技術の情報発信に努め、農業の省力低コスト化の支援を行っていきます。



メーカーからドローンについて説明



ドローンによる薬剤散布の実演